

地図と測量のコンテンツにふれてみよう！

「地理院地図を使ってみよう」編 第7回 ～土地の高さを感じてみよう～



ねえ博士、地図は平面だから、等高線や標高の値だけではいまいち高さのイメージがしにくいよね。

確かにそうかもしれんの。でも地理院地図なら立体的に地図を見ることもできるんじゃない。



そんなこともできるの？



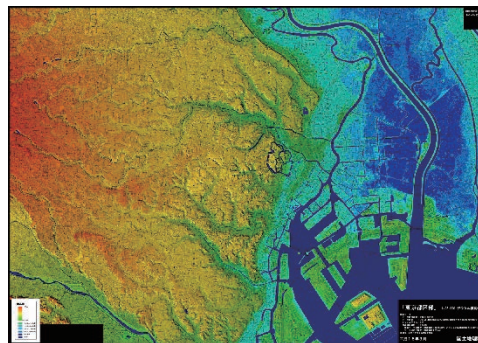
・地形に影をつけたり（陰影起伏図）
・標高をもとに色をつけた（色別標高図）
することで、立体感を出すことができるんじゃない。
また、3D表示もできるんじゃないよ！



そっか！色をつけるっていうのも
第3回 高さを色分けしてみよう でやったよね。



そうじゃな。なので今回は
「陰影起伏図」と「3D表示」をやってみよう。
また、色も、影もついている
「デジタル標高地形図」もあるんじゃない。
詳しくはこちらじゃ。



デジタル標高地形図（東京都区部）

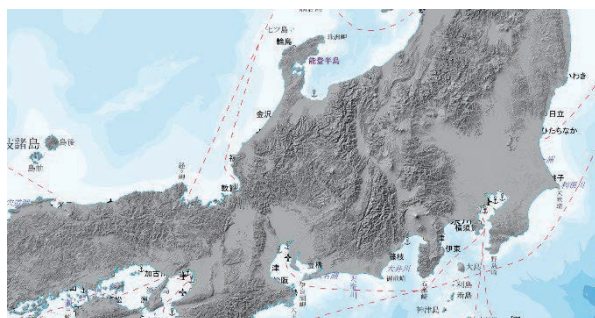
- ・ キッズページ > [等高線](#)
- ・ 地理教育の道具箱
> 地理教育支援コンテンツ
> [日本の高いところ低いところをみる](#)
- ・ 主題図（地理調査）
> 航空レーザ測量
> [デジタル標高地形図](#)



まずは「陰影起伏図」で地図に影をつけてみよう。
地理院地図を開いたら、
①左上のアイコン[地図]
②[標高・土地の凹凸]-[陰影起伏図]
を選択するんじゃない。

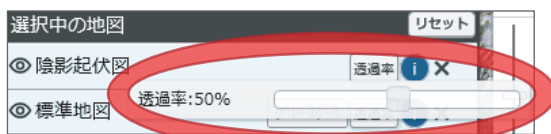


本当だ！影がついて地図がでこぼこしているように見えるね！

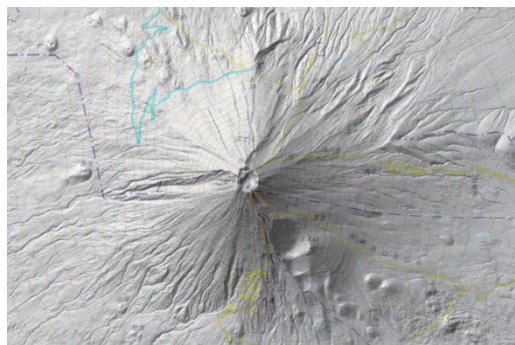




③ 透過率を変えれば、下の地図も一緒に見ることができんじや。



③



富士山周辺（陰影起伏図：透過率50%）



細かな影もついていて、本物を見ているみたい！



次は、3D表示もやってみよう。

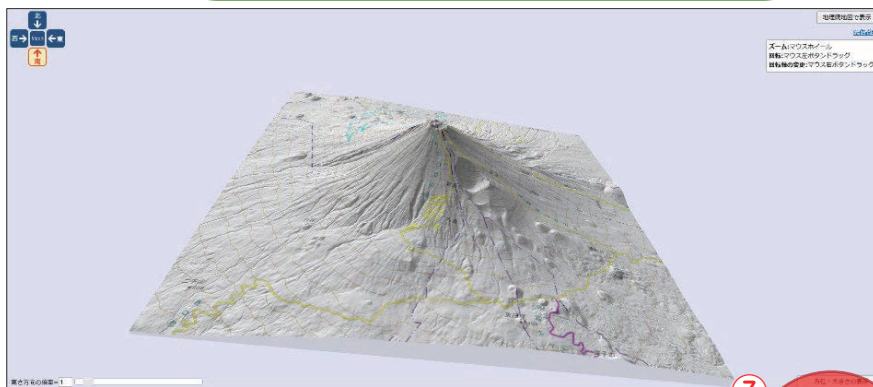
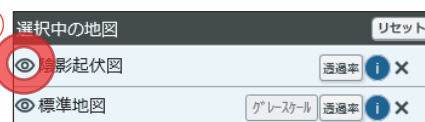
富士山周辺を表示させたまま、

④ 陰影起伏図をもう一度クリックして非表示

⑤ [ツール]-[3D]

⑥ 3D表示の範囲（今回は「小」）を選択じや！

④



⑦

STLファイル	色を付けられない3Dプリンタ用のデータです
VRMLファイル	フルカラーの3Dプリンタ用のデータです
WebGL用ファイル	ブラウザでぐるぐる回す用のファイルです（今の画面のファイル）



すごいね！

ぐるぐる回して、いろんな角度から地形を見られるよ！



面白いじゃろ？

⑦ [ダウンロード]からは、3Dプリンタで出力できるデータもダウンロードできるんじや！



また、今回紹介した内容は、動画でも説明しているんじや。



立体的に地図を見ることで、新しい発見ができそう！みんなもぜひ体験してみてね！

- [地理院地図ヘルプ](#) > [使い方動画一覧](#) >
 - [高低差を感じよう](#) / • [地形を立体的に見てみよう](#)

高低差を感じよう IE,Edge等



土地の凹凸を直感的に感じられる地図を見る方法をご紹介します。学校の地理の授業にお使いいただけます。

07 地形を立体的に見てみよう



任意の場所、大きさと地形の3Dモデルを作成し、地形を立体的に見てみましょう。